



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 石井 峯夫
(コード番号 6336 東証第2部)
問合せ先 取締役 渡邊 伸樹
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

(訂正)「平成 26 年 1 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準] (連結)」の
一部訂正について

平成 25 年 6 月 12 日に開示いたしました「平成 26 年 1 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準] (連結)」
について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

訂正理由につきましては、本日、別途開示いたしました「過年度決算短信等の訂正および平成 27
年 1 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日~平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	1,248	△29.0	<u>△124</u>	—	△123	—	△64	—
25年1月期第1四半期	1,759	△59.6	△171	—	△165	—	△167	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 △21百万円(－%) 25年1月期第1四半期 △150百万円(－%)

(省略)

(訂正後)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日~平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	1,248	△29.0	<u>△123</u>	—	△123	—	△64	—
25年1月期第1四半期	1,759	△59.6	△171	—	△165	—	△167	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 △21百万円(－%) 25年1月期第1四半期 △150百万円(－%)

(省略)

<添付資料>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(訂正前)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は12億48百万円（前年同期比29.0%減）となり、営業損失は1億24百万円（前年同期は1億71百万円の営業損失）、経常損失は1億23百万円（前年同期は1億65百万円の経常損失）、四半期純損失は64百万円（前年同期は1億67百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

(ディスプレイおよび電子部品)

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロ機の稼働状況が低下し、当社の販売も減少いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞により工作機械および産業用機械市場に停滞が見られ、当社スイッチパネルの販売は横ばいとなりました。

その結果、売上高は7億47百万円（前年同期比31.1%減）、営業利益は29百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は12億48百万円（前年同期比29.0%減）となり、営業損失は1億23百万円（前年同期は1億71百万円の営業損失）、経常損失は1億23百万円（前年同期は1億65百万円の経常損失）、四半期純損失は64百万円（前年同期は1億67百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

(ディスプレイおよび電子部品)

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロ機の稼働状況が低下し、当社の販売も減少いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞により工作機械および産業用機械市場に停滞が見られ、当社スイッチパネルの販売は横ばいとなりました。

その結果、売上高は7億47百万円（前年同期比31.1%減）、営業利益は31百万円（前年同期比57.9%減）となりました。

(省略)

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

当社グループは、平成 24 年 1 月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当第 1 四半期連結累計期間におきましても、124,923千円の営業損失、123,844 千円の経常損失、64,795 千円の四半期純損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことに鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成 24 年 1 月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当第 1 四半期連結累計期間におきましても、123,273千円の営業損失、123,844 千円の経常損失、64,795 千円の四半期純損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことに鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
その他	2,146,442	2,095,806
貸倒引当金	<u>△1,695,207</u>	<u>△1,692,542</u>
投資その他の資産合計	451,234	403,263
固定資産合計	5,479,562	5,383,130
資産合計	10,730,776	10,556,143
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
その他	2,146,843	2,097,857
貸倒引当金	<u>△1,695,608</u>	<u>△1,694,593</u>
投資その他の資産合計	451,234	403,263
固定資産合計	5,479,562	5,383,130
資産合計	10,730,776	10,556,143
(省略)		

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	1,759,257	1,248,670
売上原価	1,311,410	965,289
売上総利益	447,847	283,381
販売費及び一般管理費	619,645	408,304
営業損失(△)	△171,798	△124,923
(中略)		
営業外費用		
支払利息	30,668	30,618
減価償却費	13,938	13,949
遅延損害金	25,470	—
その他	6,073	1,394
営業外費用合計	76,150	45,962
経常損失(△)	△165,456	△123,844
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	1,759,257	1,248,670
売上原価	1,311,410	965,289
売上総利益	447,847	283,381
販売費及び一般管理費	619,645	406,654
営業損失(△)	△171,798	△123,273
(中略)		
営業外費用		
支払利息	30,668	30,618
減価償却費	13,938	13,949
遅延損害金	25,470	—
貸倒引当金繰入額	—	1,650
その他	6,073	1,394
営業外費用合計	76,150	47,612
経常損失(△)	△165,456	△123,844
(省略)		

(3) 継続企業の前提に関する注記

(訂正前)

当社グループは、平成 24 年 1 月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当第 1 四半期連結累計期間におきましても、124,923 千円の営業損失、123,844 千円の経常損失、64,795 千円の四半期純損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことに鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成 24 年 1 月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当第 1 四半期連結累計期間におきましても、123,273 千円の営業損失、123,844 千円の経常損失、64,795 千円の四半期純損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことに鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(4) セグメント情報等

(訂正前)

(省略)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	電子機器部 品製造装置 (千円)	ディスプレ イおよび電 子部品 (千円)	計 (千円)				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
セグメント利益又は損失 (△)	△164,684	29,884	△134,799	9,876	△124,923	—	△124,923

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽電池ウェーハ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(省略)

(訂正後)

(省略)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	電子機器部 品製造装置 (千円)	ディスプレ イおよび電 子部品 (千円)	計 (千円)				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
セグメント利益又は損失 (△)	△164,684	31,534	△133,149	9,876	△123,273	—	△123,273

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽電池ウェーハ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(省略)

以上